

**第144回 病態生化学セミナー**  
**新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター共催**

日時：令和5年12月21日（木曜日） 17時00分～

場所：医学部実習棟 3階 P3 講義室

演題：免疫逃避クローンを追い詰める

演者：池田 裕明 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野 教授

近年、免疫チェックポイント阻害薬やCAR-T細胞療法が承認薬となり、がんに対する新規治療法としてがん免疫療法が注目されている。しかしながら、腫瘍は元来様々な変異を持つ腫瘍細胞クローン群の集合体であるという腫瘍不均一性の性質を持っている。抗原分子、抗原提示分子、抗腫瘍エフェクター標的分子等の欠失により、がん免疫療法から逃れる腫瘍細胞クローンや、PD-L1の発現等により免疫細胞を抑制する腫瘍細胞クローンが存在する。我々は遺伝子改変T細胞療法を中心に新規がん免疫療法の開発を行なっているが、その中でこれら免疫逃避クローンをも排除可能ながん免疫療法の開発に取り組んでいる。一つには抗原認識T細胞から産生されるサイトカインと協調して、抗原欠失腫瘍細胞にも効果的に細胞死を導きうる細胞死誘導薬剤の開発を行なっている。二つ目には、腫瘍細胞が発現するPD-L1等の細胞表面分子を効率的に除去する新規ユビキチンリガーゼとプロタックの開発を目指している。本セミナーではこれらの例を中心に、免疫逃避クローンを追い詰める為のがん免疫療法の開発ストラテジーを紹介する。

【池田 裕明】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、臨床腫瘍学総論(D2)

博士課程選択科目：細胞生物学 I (D6)、組織・器官系の構造と機能 I (D8)、老化 I (D19)、腫瘍生物学 I (D24)、理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)、理工医学のための生物材料学の基礎 (M33)

を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。